

平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

<b>事業名</b>	環状交差点の効用を最大化するための条件等に関する調査研究		<b>担当部局</b>	交通局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度		<b>担当課室</b>	交通規制課		交通規制課長 和田 昭夫			
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	安全かつ快適な交通の確保 3 道路交通環境の整備					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	平成25年の道路交通法改正により導入された環状交差点は、交差点の構造、自転車を含む車両の交通量、歩行者の通行量等一定の条件が整って初めて効果が期待されるものであるため、環状交差点を導入する上での基礎的な条件(必要条件)や、環状交差点の効用を最大化するための条件を明らかにする調査研究事業を行い、その結果を都道府県警察に対して示すことで、環状交差点の導入を推進していく上での基盤を整備する。								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	警察庁において、我が国における環状交差点の効用を最大化するための条件等に関する調査研究事業を実施する。具体的には、模擬ラウンドアバウトにおいて、外径及び中央島の大きさ、接続道路数、気候等の諸要素を複合的に組み合わせた条件下で、多数の車両を走行させて、交通容量(環状交差点内や接続道路における交通渋滞を回避できる交通量の最大値)を調査するとともに、既存の環状構造の交差点における形状及び交通実態を比較対照して、交通容量を増減させる要素を研究することで、環状交差点を導入する上での基礎的な条件(必要条件)や環状交差点の効用を最大化するための条件を明らかにし、その研究結果を都道府県警察に対して示す。								
<b>実施方法</b>	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
		計	-	-	-	-	20		
	執行額	-	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-	-				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)	
	(成果目標) 環状交差点を導入する上での基礎的な条件及び環状交差点の効用を最大化するための条件に関する報告書の作成 (成果実績) 報告書数			成果実績	報告書数	-	-	-	1
				達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	既存の環状構造の交差点の調査箇所数			活動実績 (当初見込み)	箇所	-	-	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	20,017千円 / 事業			算出根拠	26年度要求額 / 事業				
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	人件費等		20						
	計	-	20						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費 必要性 投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			本事業は、全国に散在する環状構造の交差点に対し、環状交差点を導入する上での基礎的条件等を明らかにすることを目的としており、各都道府県警察が個別に取り組むことは不可能であることから、国として取り組む必要がある。また、一定の交通量以上の環状構造の交差点を環状交差点とすると渋滞が発生し、交通事故等の危険が高まることから、本事業は国民の生命等の安全に関わる重要な調査研究であり、ニーズが高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。					
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
事業の 有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
重複 排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	1 過去の事業仕分け等の結果、横断的な見直し基準等の反映状況 平成25年の法改正により、法的に環状交差点を導入する基盤が整ったことを受けて行う新規の事業である。					
	2 事業の成果目標及び活動指標の設定状況及び事業効果等の検討状況 本事業は、具体的な成果目標及び活動指標を設定しており、都道府県警察が環状交差点を導入する上での適切な判断が可能となる事業効果が認められる。					
	3 国民へのニーズへの対応状況 本事業は、一定の交通量以上の環状構造の交差点を環状交差点とすると渋滞が発生し、交通事故等の危険が高まることから、環状交差点を導入する上での基礎的条件等を明らかにすることを目的としており、当該調査研究により、各都道府県警察が、交通の安全と円滑を確保することは、国民の生命・身体の安全に関わる重要なものであり、ニーズに対応するものである。					
	4 警察庁が行う業務としての妥当性 警察庁が、各都道府県警察に対して示す、環状交差点としての交通規制を行うか否かを判断する基準である「交通規制基準」の策定に必要な調査研究であり、警察庁が行う必要がある。					
外部有識者の所見						
外部有識者の点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
要求に当たって検討すべき事項について、おおむね適切に検討がなされている。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
特になし。						
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

警察庁  
20百万円



【一般競争入札を予定】

(環状交差点の効用を最大化するための条件等に関する調査研究を実施予定)

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

# 環状交差点の効用を最大化するための条件等に関する調査研究

## 調査研究の背景

道路交通法の一部を改正する法律が、平成25年6月14日に公布され、環状交差点に関する交通方法の特例に関する規定が整備されたことにより、環状交差点を導入する上での法制上の課題が解決されたところ。

\* 環状交差点の交通方法の特例に関する規定は、1年6月を超えない範囲で施行することとされている

## 調査研究の目的

環状交差点は、交差点の構造、自転車を含む車両の交通量、歩行者の通行量等一定の条件が整って始めて効果が期待できるものであるため、環状交差点の導入に当たっての基礎的な条件や、環状交差点の効用を最大化するための条件を明らかにすることを目的とする。

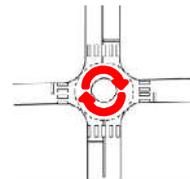
## 調査研究の内容

### 模擬ラウンドアバウトを使用した交通容量の調査

外径及び中央島の大きさ、接続道路数等の諸要素を複合的に組み合わせた条件下で多数の車両を走行させて、交通容量(環状交差点内や接続道路における交通渋滞を回避できる交通量の最大値)等を調査

### 既存の環状構造の交差点における交通実態等の調査

既存の環状構造の交差点のうち、外径及び中央島の大きさ、接続道路数等を踏まえ、条件の異なる10箇所について、その形状、交通実態等を調査



比較  
対照

交通容量を増減させる要素等を研究

- ・環状交差点を導入する上での基礎的な条件(必要条件)
- ・環状交差点の効用を最大化するための条件を明らかにする。

研究結果を都道府県警察に対して示すことで、  
**環状交差点を導入する上での基盤を整備**